

平成25年度 2年生 数学科シラバス

教科の目標

目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばし、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法とを理解し、具体的な実験をとおり関数の表現方法や確率の考え方の基礎を養う

月	単元・項目	つけてほしい力	学習のアドバイス
4 5	ガイダンス 1章 式の計算 ①式の計算 ②式の利用	簡単な整数の加法・減法および多項式の乗法・除法の計算ができる。 目的に応じて簡単な式を変形できる。 式の値を正確に計算することができる 数量及び数量の関係をとらえるために文字式を利用することができる	ノートの取り方、学習方法の確認 1年次の文字の扱い方を確認する 練習問題をこなすことで慣れる
6 7	2章 連立方程式 ①連立方程式 ②連立方程式の利用	二元一次方程式とその解の意味を理解する。 文章から方程式を導くことができる。 簡単な連立二元一次方程式を解くことができ、それを利用することができる。	1年次の1次方程式の復習 日常的な問題で導入を行う プリント学習などで数多くの演習を行う
9 10	3章 1次関数 ①1次関数 ②方程式と1次関数	1次関数を用いてとらえるものがあることを知る。 1次関数のとる値の変化の割合とグラフの特徴を理解するとともに、1次関数を利用できる。 二元一次方程式を、関数を表す式とみることができる。	1年次の1次方程式・比例の復習 日常生活の中から、1次関数となるものを題材とすることで、慣れる プリント学習などで数多くの演習を行う
11	4章 図形の性質 ①平行線と多角形 ②図形の合同	平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめることができる。 平行線の性質や三角形の角についての性質をもとにして多角形の角についての性質を見いだせる。 三角形の合同条件を理解することができる。 証明の意義と方法を理解する。	対頂角などの用語と意味を確認する 多角形の規則について学ぶ 証明問題のパターンを反復することで証明の書き方・きまりを身につける
12 1 2	5章 三角形と四角形 ①三角形 ②四角形	三角形の合同条件を理解し、それに基づいて三角形や平行四辺形の性質を理論的に確かめることができる。 平行四辺形であるための条件を確かめ、それを図形の証明に用いることができる。	三角形や平行四辺形の定義・定理を理解する 証明問題に定義・定理を活用できるよう反復練習をする
3	6章 確率 ①確率	起こりうる場合を順序よく整理することができる。 確率の意味を理解し、簡単な場合の確率を求めることができる	日常的な問題から導入を行う 簡単な場合での実験を行い、感覚をつかむ
	2年生の復習	自分の課題箇所を見つけ、克服する。 自分の得意箇所を見つけ、伸ばすことができる。	1年間の復習を行い、個人個人の課題をみつける

事象の観察や

評価方法

各定期試験
課題テスト
小テスト

提出物
・ノート
・ワーク
・プリント課題

授業態度
・忘れ物
・態度
・発表、質問